

同窓生の特典

特典
1

同窓生の家族の高校入学金が**半額に!**
(入学金 20 万円が 10 万円に減額)
「修学奨励金制度」があります

特典
2

同窓生の**結婚式に祝電**が送られます
ご希望の方は、月日、式場などを高校へご連絡ください
※変更後の住所は必ずご連絡ください

詳しくは入試広報室まで
お問い合わせ下さい

学園創立70周年記念式典 中止のお知らせ



11月23日(祝)に大阪狭山さやかホールで予定していましたが、秋口にかけては新型コロナウイルス感染症の第2波が予想される中で大ホールに集まるのは断念せざるを得ないと理事会で判断いたしました。懐かしい先生方や友人と会えることを楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ございませんがご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



記念パネルディスカッションは7月28日無言館でオンラインで行いました。
ダイジェスト版がYouTubeにアップされています。学園ホームページ、および各校種のホームページにリンクが張っていますのでそちらからご覧ください。

同窓会の事業

- 同窓会報「樟美会だより」(年1回)発行。
- 1年おきに、文化祭の日に総会開催。参加記念品贈呈。文化祭に樟美会テントを出店(模擬店)。ぜひ、ご参加ください。
- 卒業祝いに紅白まんじゅう贈呈。「送る会」で祝辞。その他、名簿管理/Facebook/同窓会ホームページなど。

樟美会の役員

会長(15期) 葛目 巳恵子	書記(34期) 西原 亜希子
副会長(31期) 山田 ひとみ	書記(55期) 河合 成葉
副会長(49期) 安達 明日香	会計(28期) 柏木 明美
副会長(51期) 大倉 結	会計(57期) 大倉 結衣
副会長(56期) 横平 謙	会計監査(24期) 川上 和美
副会長(64期) 布藤 和生	会計監査(29期) 藤永 恵美子
書記(13期) 嶋津 恵子	

暁光高校 文化祭について

今年度の文化祭は、新型コロナウイルスによる感染症防止の観点から、規模を縮小して在学生のみで開催いたします。つきましては、卒業生や地域の方に向けた参加のご案内を見合わせることに致しました。詳細は、ホームページまたはフェイスブックをご確認ください。



樟美会はフェイスブックに参加しています



皆さんの「いいね」
お待ちしております!



「私学助成をすすめる会」より 署名ご協力のお願い

長年の運動が実を結び、公立高校は授業料が無料になりました。私学は保護者の収入によって規制はありますが一歩前進しました。子どもたちが安心して学べる環境をつくりましょう。その一番の力がこの署名です。どうか皆様のご協力をお願い致します。申し訳ございませんがお手元の封筒で学園までお送りください。

樟美会のみなさまへ



理事長 高橋 保

同窓生の皆様今日は。コロナ禍にしこたま囲まされているところに、線降水帯がこれでもかと襲い掛かり、記録的な豪雨によって全国各地で大打撃を受けました。お亡くなりになられた方を心からお悔やみするとともに、被災された皆様を衷心よりお見舞い申し上げます。

荒涼とした今日の社会の在り様は、不健全極まりないとの思いから、穏やかで安心して日々が過ごせることに、より価値を見出せる未来を希求して、共生社会の一翼を担う学園足らんと私たちは舵を切ったのです。しかし、コロナ禍でリモートを余儀なくされ、働き方改革で在宅ワークが普及し始めるなど、労働環境は大きく変容して行く予兆も見え始めています。それは同時に東京一極集中弊害打破の決め手になるかも知れません。そうした可能性を認めつつ、でもそれが全てでは無いこと。人は人との関係を介して自らを知り、己を回復する術を得られる存在であるという点だけは、未来永劫色褪せることはないと思っております。

さて、同窓生の皆様は如何お過ごしですか。自粛生活で不自由を託ち、常に感染予防に気を付けなければならない日々への戸惑い、いかばかりかと拝察いたします。そんな中、皆様の母校学校法人千代田学園は、お陰様で本年度創立70周年を迎えました。卒業生おひとりおひとりが、その歴史を築いてこられたのだと思うと、時間の重みはずしりと押し掛かり、学園理事長としての責務に思わず襟を正さずにはいられません。一方、学園を取り巻く状況に目を転じると、片時の油断も出来ないことが見て取れます。人口減少社会と言うかつて経験したことのない時代にあって、学生、生徒、園児を如何に迎えるか、並尋常な課題ではありません。70周年は節目ではあっても、大切なことは更に100周年に向かって、新たな一歩をどのように踏み出すか、との展望こそが何よりも求められていると承知しています。

70周年を寿ぎ、一同に会してシンガーソングライターで歌手の加藤登紀子様、ドキュメンタリー作家の第一人者柳田邦男様、戦没画学生慰霊美術館館主の窪島誠一郎様を囲んでの記念シンポジウム「いのちをみつめて」を初め、楽しいひと時を計画していましたが、コロナ禍の第2波を勘案し、サヤカホールでの開催は断念致しました。楽しみにして頂いていた皆様には諸般ご賢察下さいまして、ご理解賜りますようお願い申し上げます。幸い、窪島誠一郎様のお計らいで無言館にてシンポジウムは開催することが出来ました。現下の状況を読み解き、明日への活路を開く当日の様子はYouTubeでご覧になって頂けますので是非見て頂きたく、ご案内申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念致しますとともに、改めてお会いできる日があればと期待してご挨拶と致します。

今、学園が心一つにして取り組んでいるのは、人々の暮らしや生活を支えるために、欠かすことが出来ない基盤である教育や医療、福祉などの分野で、教員や看護師、保育士など対人援助専門職が輩出する学園として、地域社会から信頼され頼りにされる存在を目指していることです。世界中をマネーゲームが席卷し、人々を蝕み、殺伐

同窓会事務局より

- 「住所・姓名変更届け用はがき」を同封しています。変更があれば、はがき表面に姓名(旧姓名も)記入して、ご返信ください。お友だちの変更も教えてください。
- ミニ同窓会など通信を送ってくださった方に粗品を贈呈いたします。
- 個人情報に関して……最近同窓会を名乗り、個人情報を引き出そうとする事態が発生しています。本同窓会は個人に対してそのような行為は一切行なっていません。不審な問い合わせがあった場合至急ご連絡ください。



人の生命を大切に、
平和で民主的な社会の実現を願って、誠実に生き、
一生懸命努力する人間を育てます。
そのために保護者と教職員が手をたずさえ、
生徒一人ひとりが豊かな心をはぐくみ
大きく成長する学園づくりをめざします。

ブロンズ製記念像
「少女の像」— はばたけ未来へ —
製作者/杉村 仁 氏
銘板 揮毫/初代校長 木川美子 先生
寄贈者/樟美会



ユネスコ『学習権宣言』

樟美会会長挨拶



樟美会会長 葛目 巳恵子

小学校が再開されて、子ども達の通学姿が地域にやっと戻ってきました。三学期末のまとめの勉強もなくなり、新学期の始まりもクラス半分ずつの生活でした。そんな中でも、友達と会えた喜びは、放課後の遊びにあふれているようです。

私の孫の小学生二人も自粛中、家での生活を頑張りました。学校からの宿題をこなし、逆上がりで成功させ、料理を覚え、風呂洗い等のお手伝いをして、三ヶ月近く過ごしました。大好きなゲームセンターも閉ざされている中、家でのスマホのチューブが、唯一の楽しみでした。

預かった我が家も外食を自粛し、三食手作りし、食べさせる生活をなんとかやり遂げられたのは、何を作っても「おいしい！」と言ってくれる孫の存在が、元気やる気の基だったようです。

子ども達の頑張りに対して、一部大人の「他府県までパチンコに行く」や「飲み会」等の恥ずかしい行為にはあきれられるばかりです。まして法を守るべき人間の「賭けマーじゃん」にともなう一連のニュースには、怒りがわいてきました。

コロナが浮き彫りにしたのは、一般日本人の真面目さや律儀さでした。そして、必死に商売を守ろうと努力する「テイクアウトお弁当」に取り組むお店の人たちの姿です。それでも、たくさんの小さなお店が閉店しています。そんな中で、売り上げを伸ばし大もうけしている大企業や流通業界など、大きな単位に集中させるやり方は、格差を生むばかりだということ、人々の日常を支える地域のコミュニティを大切にすること、地域医療や小さな商店など、手が届きみんなの顔が見えるお互いに知り合い、寄り添え支えるそんな生活を大切に教えてくれているように思います。

暁光高校は、社会で生きる人々を支える仕事、看護、保育、教師等の人材を育てる大切な教育を柱にしています。そのために在校生には人の命と人権を大切に、自分も他人も尊重する学びを手にしてほしいと願っています。

卒業生の先輩の皆様には、これまでと変わらない応援をお願い致します。

会員の皆様、身体を大切にしてください。コロナに負けないよう気をつけてお過ごし下さい。

「樟美会」って？

大阪暁光(千代田)高校は1950年、幼稚園とともに創立されました。「樟美会」の名付け親は、初代の木川美子校長先生です。「樟」とは「くすのき」のこと。楠木氏ゆかりの河内長野市の「市の木」です。常緑樹で大きく成長するくすのきは、たくましく発展する姿の象徴ともなっています。それに「美」をそなえ、心たたく未来へむかって伸びてほしいという願いが託されたすばらしい名前なのです。

大阪暁光

一人ひとりの可能性を引き出す暁光

暁光で
良かったですか?
92%

学校生活の
充実度は?
85%

暁光生に
聞いてみました。

あなたの歩みをしっかり応援し、支えてくれるからです。



「わたし」を通したココだけの学び

普通科 教育探究コース

体験×探究でキミを輝かせる!

さまざまな経験が人に深みを与え、心を豊かにする! アクティビティを中心にワクワクするようなカリキュラムでキミの経験値をアップ! 先輩の言葉を聞き、考え、自分へ落とし込む学習。誰の心にも寄り添える魅力的な人格者を育てていきます。

2021年ホンモノをめざす「7年の学び」

高野山大学文学部教育学科との7年連携

※設置認可申請中



生徒一人ひとりと向き合うサポート体制で夢を叶える

普通科 進学総合コース

“可能性”を開花させるサポートがある!

キミが何になりたいか? 何になれるか? 一緒に探していきましょう! 大阪暁光では教職員一丸となってキミの可能性を応援します。一緒に考え、悩み、目標実現へむけて全力でサポートします。なぜなら、大阪暁光はキミたちみんなが主役の学校だからです。

仲間とともに学び成長する 特別な3年間!





主役はキミだ!

大阪暁光はあなたが主役になれる場所です。

「なぜ？」それはあなたを主役にしてくれる素敵な出会いがあるからです。将来を輝かせるための学び、なによりあなたが「望む」未来へ導いてくれる先生という心強い存在が

最短20歳で
看護師に!
だから暁光を選択



保育園・
こども園が
隣接!



5年一貫看護師養成課程 (看護科3年・看護専攻科2年)

看護科・看護専攻科

夢の舞台に“一歩近づく”場所!

大阪府下の高校で「5年一貫看護師養成課程」があるのは大阪暁光を含め2校だけ。一年でも早く看護師として医療現場に送り出してあげたい。私たちは最新の設備と親身なサポートであなたを光輝く未来へと導きます。

看護師国家試験合格率

※1~3期生全修了生の合格率

99%
(既卒生合格率 100%)



「こどもと関わる未来をめざす」キミの夢を実現

普通科 幼児教育コース

夢の実現へ真っ直ぐ進める道がある!

隣接する保育園・こども園での実習体験をはじめ、進学を見据えた大阪千代田短期大学との高短連携など、「こどもと関わる未来をめざす」夢の実現のためのサポートがいっぱい! ココにはキミの夢を叶えるための花道が用意されています。

高校在学中に短大の単位を先行取得!

大阪千代田短期大学と高短連携授業



学校長挨拶



学校長 谷山 全

樟美会のみなさん、こんにちは。コロナ禍の中、息災でいらっしやうたでしょうか?

3月2日に全国一斉休校宣言が突然発出され、その後は目まぐるしく変わる情勢の下で、対応に奔走した3ヶ月でした。6月第3週より通常授業を再開し、学校はようやく日常を取り戻しつつあります。

再開に際して、私たちは2つのことを大切にしてきました。一つは、生徒の命と健康を守ること。もう一つは、心身の状態をきちんと掴み寄り添うことです。

長期の休業で生活リズムを作れない生徒、心のバランスを崩している生徒、親の収入が殆ど無くなり不安を抱える生徒……新型コロナは様々な形で生徒を追い込んでいます。生徒をしっかり支えなければと思います。

今後は、行事も含め、学びをどう保障していくか

が問われます。同窓会のみなさんは、行事のない学校生活の味気なさを十分ご理解していただけたと思います。「応援団に入って頑張りたい!」という思いをしたためて体育大会を待ちわびていた3年生を思うと忍びない気持ちで一杯になります。制約はありますが、生徒が輝く空間を一つでも多く創っていきたく思います。

今、コロナ禍でより弱い人が犠牲になっています。「人間教育」を理念に、人のいのち、生活、尊厳を守る仕事につく人を育てようとする本校の役割は、ますます重要になっています。みなさんが在学されていた時と同様、「だれも取り残さない温かい人間社会」を創造する主権者を育てる教育を続けていきたいと思ひます。

校舎は新しくなりましたが、近くに来られた際は、遠慮なくお立ち寄りください。こころより歓迎いたします。

お元気ですか



堀内 香 先生

大学を卒業したばかりで、人一倍世間知らずだった私にとって、教師になっていくのはかなりの試練でもありました。しかしここで過ごしてきた日々は私を人間として鍛え、教師として生きる意味を教えてくださいました。

私の自慢の一つは担任を多く持ってきたことです。いや持たせてもらったというべきでしょうか? もう20年以上も前のある時、生徒がKGノートに「NGノート」と間違えて書いていて、先生たちと大笑いしながら当時流行っていた「NG大賞」というテレビ番組から「KG大賞」という言葉を思いつきました。その賞とキティちゃんシールが大好評でKGノートを出す生徒が増えていったエピソードがなぜか私の担任の原風景なのです。

桜の花が壁のない廊下に舞いこむ旧校舎の春の訪れ、放課後、机をくっつけて始まる学習会のかけがえのないひと時。文化祭のまとめができずに徹夜し、くたくたになった日々、卒業式の日、せっかく用意した学級だよりなのに思いがこみ上げ、涙で読めなくなってしまう…そんな日々をいくつも過ごしてきました。

今年、新型コロナウイルスのために、学校があっけなく一斉休校になり、再び担任していたクラスも中途半端で終わってしまいました。休校が長引く4月、生徒のいない静まりかえった教室で、この日本の片隅にある一高校での小さな営みを思い返し、その教育の重さと確かさと自分の老いを感じていました。

千代田ファミリー 近況報告

大阪暁光高校は生徒が主役！
でも現役生だけでなく、卒業後も、
保護者も元気いっぱい
様々な活動をしています。

今年度から母校の教壇に 一つに「その日」がやってきたー



布藤 和生 先生(64期生)

暁光に入学するまでは勉強が嫌いで、学校は自分を苦しめるものだと思っていました。暁光で過ごした日々は

そんな私の勉強観、学校観を転換させました。KGノートや充実ノート、放課後学習会に取り組むなかで、学ぶ面白さに気づき、成長することができました。

私の成長を支えてくれた先生たちに憧れ、人に寄る仕事をしたいと思うようになり、いつしか教師を志しました。「教師になり、いつの日か母校に戻ってこれればいいな」という漠然とした思いを抱え、暁光を卒業しました。

それから4年と数ヶ月が経ち、ついに「その日」がやってきたのです。今年度より社会科の教師として母校に帰ってきました。1年生の担任になり、新入生とともにKGや放課後学習会、行事に取り組もうと思っていた矢先に、新型コロナウイルスの影響で休校になってしまいました。

休校中は課題を生徒に送り、生徒から返送された課題にコメントを記入し、それを生徒に送り返すことで学びを支えてきました。「高校の先生」になったというより、まるで「赤ペン先生」になったような感覚です。

しかし、その課題のやり取りのなかでも、教師という仕事のやりがいを感じています。

ある生徒が「社会科は暗記科目という印象が強く、今まで必死に覚えてきたけど、今までとは違って歴史について沢山考えさせられるし、何か違う科目をしているみたいですよ！」という感想を書いてくれました。別の生徒は「社会科の課題を進めていくうちに『えっ！社会めっちゃおもしろい！』って思いました。早く学校に行って社会の授業したいなって思いました！」と感想を書いてくれています。

週に数回の分散登校を経て、学校の本格再開に向けて動き出しています。正直なところ不安も沢山ありますが、「勉強が分かるようになりたい」「変わりたい」という生徒たちが心に抱いている願いを掘り起こし、成長を支えていく決意です。



「最低賃金全国一律1500円以上を求めて」



河合 成葉(旧姓：宮本)55期生

大阪府下で働く仲間が結成している労働組合、大阪労連の青年部で日々組合活動に動んでいます。

大阪労連青年部では今期、最低賃金の引き上げと全国一律化を求める運動を重点課題として、青年を中心に4月の1ヶ月間、総勢24名で最低賃金生活体験に取り組みました。

体験に取り組んだ青年からは、「今の最賃では病気になっても病院に行けない」「コロナの自粛要請がなくとも、最賃で生活している人たちは常に自粛を強いられ

ている状態に等しい」「今回は1ヶ月の体験だったが、ずっと最賃での生活をしろと言われてたら絶対に無理！人間らしい生活なんてとてもできない」などの感想が出され、コロナ禍で自粛要請が為される中でも、最賃では生活ができないということを実証する体験となりました。

千代田高校で学んだ、自分の頭で考え行動することの大切さを労働組合活動でも発揮していきたいと思えます。

大阪労連青年部 部長

再々チャレンジ模索中

30期生同窓会開催が2019/10/12台風のため延期、再度2020/5/17に設定し準備完了と思ったところ、今度はコロナ拡大防止のためやむなく中止となりました。

先生方とも念入りに打ち合せし、楽しみにしていましたが…。

あきらめず必ず三度目のチャレンジをと。

30期生の皆さん。お会いしたいです。その日までご自愛くださいね。

幹事 山田 貴子(旧姓：岩田)

就労継続支援B型事業所で働いています。

松原 栄子(旧姓：西川)28期生

2007年の夏休みをさかいに次男が学校に行けなくなりました。「なぜ！？私の育て方が間違っていたの？」と何冊も本を読んだり、講演会に行ったりして勉強をしました。

そんなときに、私の恩師から「親にできるのは、子どもを愛して、信じて、見守ることだけだよ」と励まされ、それからは「そうだ、息子が安心して眠れる場所と美味しい食事を作ることしよう」と考えるようになりました。

このことがきっかけとなって、不登校やひきこもりの方のお手伝いのできたら、と法人を立ち上げ、2013年には就労継続支援B型事業所「なの花」を開所しました。事業所では、パソコン作業、軽作業、畑作業、創作活動を行っています。その中で『あなたのしたいことを応援します』『あなたの自己決定を大切にします』『あなたの成長を見守ります』を大切にしながら頑張る毎日です。これからも、利用者の方々と一緒に歩んでいきたいと思っています。



松原と「なの花」のゆかいな仲間たち

ミニミニ通信

M・Yさん(14期生)

年と共に身辺整理をしています。会報楽しみにしています。樟美会の更なる発展を祈念しています。

S・Sさん(15期生)

車の免許証を返納して、今は電車徒歩の生活です。約43年運転していました。

H・Kさん(39期生)

いつも通信ありがとうございます。東京へ越し、新しい職場でも子どもに関わる仕事を続けています。この仕事に就いて良かったです。

K・Mさん(15期生)

夕方、朝食のパンを買いにコンビニへ行った。隣にとまったタクシーからお歳を召した男性が降り、何日分かのパンを購入しタクシーに乗って帰っていった。少し足がお悪いようでしたが、雨が降っているとはいえタクシーを使つての買い物とは…。以前も同じような光景を見たことがある。スーパーでの買い物のご夫婦。こんな光景を見ていると近くなら車でおくつてあげるのと思った。タクシーを使つてまでの買い物に、自分勝手な思い込みかもしれないが隣近所の間関係にまで思いをめぐらせるのは傲慢なのか、とモヤモヤしている今日この頃である。

T・Yさん(48期生)

小学生の時、葛目巴恵子先生に担任してもらいました。イジメられてもイヤと言えない私に「ぐっと耐えてアンタは強い！みんなもそう思わんか！？」と、クラス全員に話して下さったの、今でも覚えています。千代田高校でつながった事がとてもうれしかった。どこかでお会いできたらな…と思っています。

T・Yさん(42期生)

昨年文化祭、遊びに行かせていただきました。当時、家庭科の先生をしていた中川先生にお会いでき、楽しいお話もできうれしかったです。樟美会だよりいつも楽しみにしています。ありがとうございます。